

## 胃部X線検査ってなあに？

胃部X線検査は、胃がんや胃潰瘍など胃の病変を発見するための検査です。

胃がんは男性では3番目に多くおよそ10人に1人、女性では4番目に多く21人に1人になると推測されています。

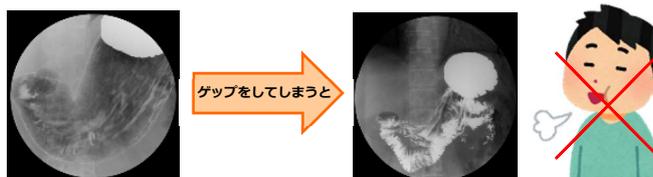
50歳前後、特に男性で罹患率が高くなります。ピロリ菌の感染による慢性的な胃炎、喫煙習慣、塩分の取りすぎや野菜の摂取不足などを原因としてリスクが上がると言われています。



胃部X線検査では、発泡剤（炭酸の粉）を飲んでいただき、胃を膨らませます。装置の上でバリウムを飲み、技師の指示で体を動かして撮影していきます。



ゲップをしてしまうと膨らませた胃がしぼんでしまうため、ゲップは我慢してください。



バリウムは固まりやすい性質があります。検査後は体外に排出するために、下剤をお渡ししますのでお飲みいただき、水分も普段より多くお飲みいただくようお願いいたします。検査後、しばらくしても白い便（バリウム便）が出ない場合は医療機関を受診するようお願いいたします。

妊娠中、妊娠の可能性のある方、持続血糖測定器（CGM）をつけられている方、バリウム検査で過去にアレルギー反応が出たことのある方は受診できません。ご了承ください。